

たかおか 市民と市政

無料アプリ
カタログポケット
でも配信中!

・動画や写真も楽しめる
・読み上げや翻訳機能付き



ダウンロード

広報紙へのご意見・ご感想をお待ちしています



アンケート

No.198

4

2022

新たな校歌を、
新たな仲間とともに。



昨年行われた交流学习
などの様子▼▲▼



高陵小学校開校に向けた、平米小学校と定塚小学校の5年生による合同校歌練習
(カタログポケットで、校歌練習の様子を動画でご覧いただけます)

感染症対策への
ご協力をお願いします。

- ▶こまめな手洗い・換気
- ▶マスクの着用
- ▶「密集・密接・密閉」の回避

| 2・3P | 総合計画第4次基本計画 | 4~7P | 令和4年度予算 など

※今月号の内容は、3月14日時点の情報です。最新情報は市HPなどでご確認をお願いします。

はじめる、はじまる、 わたしたちの高岡。



総合計画第4次基本計画がスタートします

市民の皆さまからご意見をいただきながら、有識者や公募で選ばれた市民による審議会委員、アドバイザーが議論を重ね、まちづくりの方向性をまとめました。

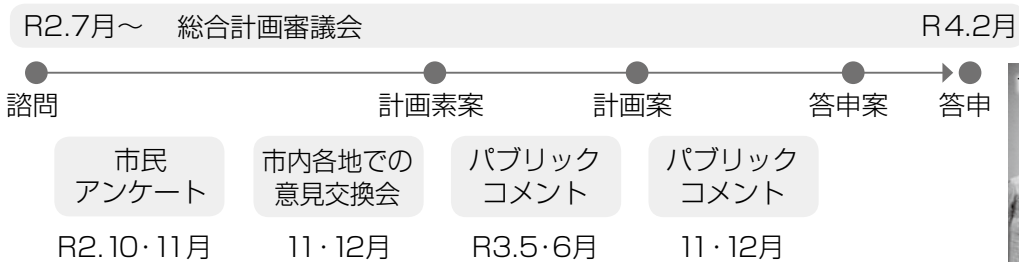
問合先 企画課 ☎ 20-1226

総合計画第4次基本計画とは

総合計画＝市の全ての政策・施策の基本となる行政運営の指針。

第4次基本計画＝令和4～8年度のまちづくりの方向性を示すもの。

つまり、総合計画第4次基本計画は「今後5年間の高岡市のまちづくりの道しるべ」です。



計画の特徴

「次の世代」も見据えて

人口減少・少子高齢化が進行する中、20～30年後を見据えた長期的な視点に立ち、「次の世代」からも共感を得ることができるまちづくりを進めます。

「変革」へ挑戦

Society 5.0の実現に向けた次世代技術の積極的な活用やSDGsの推進など、新たな時代の潮流を取り入れて「変革」に挑戦します。

「ひと」が主役のまちづくりを

これまで築き、磨き上げてきた「都市の強み」と「まちの魅力」を最大限に生かすため、「ひと」をまちづくりの主役と捉え、高岡に関わるすべての「ひとの力」で、持続可能で進化し続けられるまちを目指します。

パブリックコメントから計画に反映させていただいたご意見

SDGsの達成に向けて、ゼロカーボン^{※1}やエシカル消費^{※2}などに取り組んではどうでしょうか？

「こころの性」に関して、具体的な取り組みを明記し、実効性の高いものにする必要があると思います。

連携する関係機関名を記載した方が、どの機関と連携し施策を展開しているのか明確になるのでは？

計画に施策や機関名を追記するなど、いただいたご意見を反映し、策定しました。

※1…温室効果ガス排出量を実質ゼロにすること。※2…地域の活性化や雇用なども含む、人や社会、環境に配慮した消費行動。

今後5年間で取り組むこと

5つの分野で、各施策に取り組んでいきます。
※ここでは、主な取り組みを抜粋しました。

市ホームページで
計画の詳細を掲載しています。



地域産業

- デジタル化の推進や事業承継・創業に取り組む事業者への支援
- 企業団地適地調査の結果を踏まえた開発手法の検討
- 働き方改革に向けた普及啓発
- スマート農業技術の導入支援
- 新規就農、後継者確保の促進
- 農福連携の推進 など

歴史・文化

- まちなかや歴史、文化資産をステージにしたイベントの実施・配信
- 瑞龍寺や勝興寺の保存・活用
- 古城公園の魅力向上の検討
- 日本遺産の魅力発信
- ホール機能のあり方の整理検討 など

交流・観光

- SNSなどを活用した高岡の魅力発信
- 福岡パーキングエリアのインター化に向けた取り組みの推進
- 城端線・氷見線のLRT化など持続可能な交通体系の検討
- 市民協働型地域交通システムの推進
- リノベーションまちづくりの推進
- 歩いて楽しいまちづくりの推進 など

子育て・教育

- 潜在保育士の発掘などを含めた保育人材の確保
- 子どもの居場所づくりや親子の交流の促進に対する支援
- 産後ケアの推進・産後ヘルパーの派遣
- 小中一貫校の推進
- スポーツコアのリフレッシュ（大規模改修の検討など） など

安全・安心

- IoTを活用した認知症やひとり暮らし高齢者への支援
- カーボンニュートラルの実現に向けた検討・実施
- 公園の魅力向上のための民間活力導入などの検証
- 地域が自主的に取り組む課題解決への支援
- 女性人材バンクの検討
- 民間企業とのパートナーシップの構築 など

目まぐるしく変化していく経済社会情勢や
市民ニーズなどに的確に対応するため、
必要に応じて柔軟に計画を見直していきます。

この計画のもと、
みんなで高岡を前へ
進めていきましょう！



※4月から、以下の方針・計画・プランも始まります。
詳しくは市ホームページで確認できるほか、5月号以降でも詳しく紹介します。

▪ DX推進方針



▪ 中心市街地活性化基本計画



▪ 多文化共生プラン



▪ DV対策基本計画



▪ 男女平等推進プラン後期事業計画



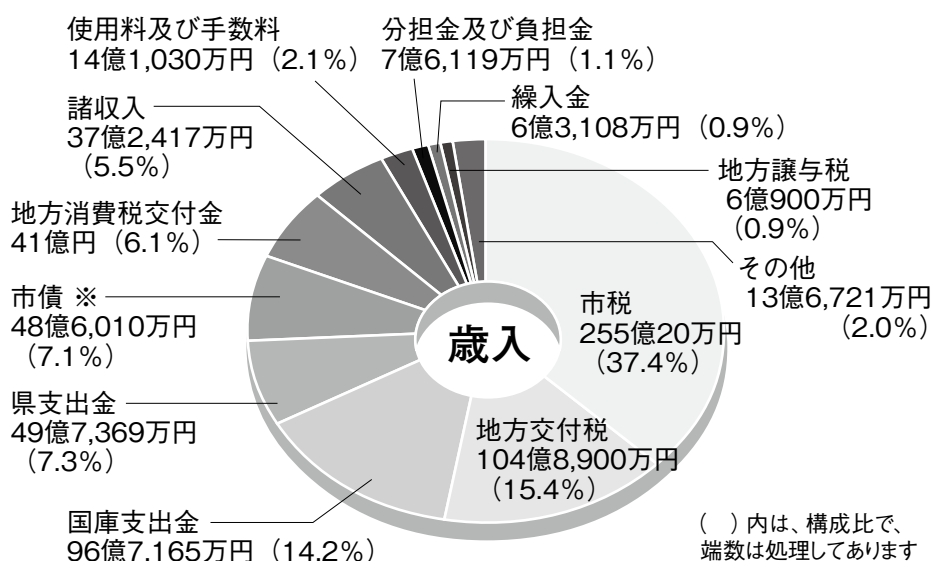
▪ グリーンプラン



戦を支える予算

73万円、2.7%の増です。特別会計（国民健康保険事業会計など9
157万円、2.0%の増です。

680億9,759万円



一般会計・特別会計の予算の内訳

会 計 名	令和4年度予算額	前年度からの増減	伸率
■一般会計※	680億9,759万円	17億6,873万円	2.7%
■特別会計※	664億3,913万円	13億 157万円	2.0%
国民健康保険事業	156億5,155万円	4億1,475万円	2.7%
荻布奨学金事業	156万円	▲96万円	▲38.0%
駐車場事業	1億3,146万円	▲7,806万円	▲37.3%
介護保険事業	196億3,447万円	1億5,564万円	0.8%
後期高齢者医療事業	27億1,460万円	8,191万円	3.1%
高岡市民病院事業	106億9,409万円	2億1,787万円	2.1%
水道事業	56億5,826万円	5億7,638万円	11.3%
工業用水道事業	4,384万円	687万円	18.6%
下水道事業	119億 930万円	▲5,882万円	▲0.5%
工業団地造成事業	—	▲1,401万円	皆減
合 計	1,345億3,672万円	30億7,030万円	2.3%

予算の特徴

令和4年度は「ひとの力」がテーマの総合計画第4次基本計画の初年度です。市民が「挑戦」できるまちづくりの布石の年となるよう、「今」に的確に対応するだけでなく、「未来」へ向けて挑戦します。

新たな「挑戦」が生まれやすい環境づくりにスピード感を持って取り組んでいくとともに、その「挑戦」を持続的なものとして支えるため、「市民全体の挑戦」と「市民生活の安定」の視点から4つの施策に重点的に取り組みます。また、未来を見据えた実証実験などに果敢に挑戦していくほか、多角的な視点からの検討・検証を実施し、将来のまちづくりに繋げる取り組みも進めていきます。

4つの重点的な取り組み

「市民全体の挑戦」の視点

①時代の変化へ対応した環境づくり
時代の変化などを好機とし新たな挑戦を生み出す「環境づくり」に取り組みます。

②未来へ向けた人づくり

子どもたちをはじめとした未来の高岡を切り拓いていく「人づくり」に取り組みます。

「市民生活の安定」の視点

③安心して暮らせる地域づくり

市民が主体的に課題解決に取り組め、誰一人取り残さない「地域づくり」を支援します。

④市民サービスの安定した社会づくり

挑戦の土台となる安全な生活を送ることができる「社会づくり」に取り組みます。

一般会計の市債残高

- 令和4年度の市債発行予定額は48億6,010万円で、前年度に比べ14億6,890万円減
- 令和4年度末の市債残高は984億6,166万円(見込)で、前年度末に比べ38億1,469万円減

令和4年度以降も市債発行抑制に努め、市債残高の減少に取り組んでいきます。

※予算用語の説明

■一般会計

市税などを主な財源として、市の基本的な経費を経理する会計です。

■特別会計

国民健康保険事業などの特定の事業を一般会計と切り離し、保険料などの独自の財源をもって独立して経理する会計です。

■市債

市の長期借入金のこと、学校や道路などを建設するために借ります。

■扶助費

国の法令などにに基づき、子どもから高齢者まで幅広い市民を対象に生活を援助するためのお金です。

■公債費

市債の元利償還金と一時借入金利子に支出するお金です。

■普通建設事業費

学校や道路などを建設するためのお金です。

【補助事業】

国の補助金などを受けて行う事業です。

【単独事業】

国の補助金などを受けずに行う事業です。

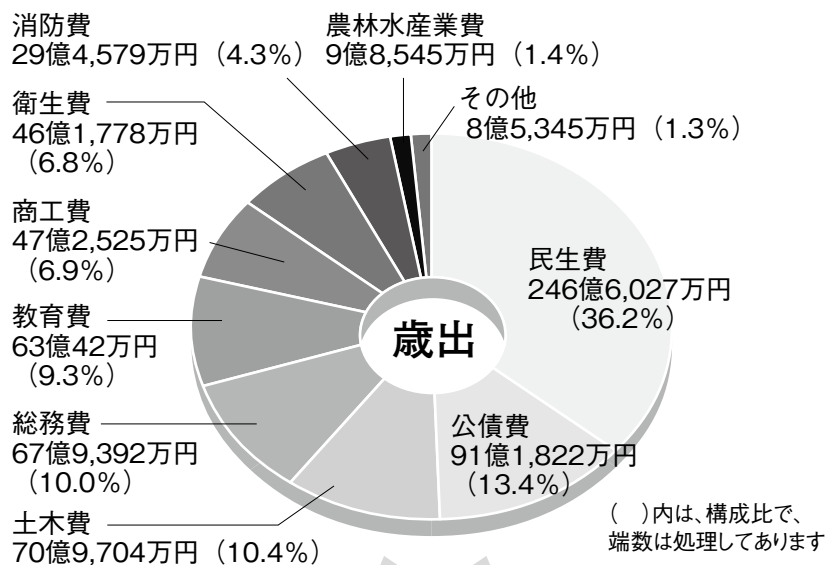
令和4年

挑戦を生み、挑

一般会計は680億9,759万円で、前年度予算に比べ17億6,873万円(増)の予算総額は664億3,913万円で、前年度予算に比べ13億

問合せ先 財政課 ☎20-1246 FAX20-1699

一般会計



歳出(一般会計)を性質別で見ると

区 分	令和4年度予算額	前年度からの増減	伸率
■義務的経費 計	337億100万円	2億3,687万円	0.7%
人件費	105億3,319万円	6,114万円	0.6%
扶助費※	140億4,959万円	4億4,450万円	3.3%
公債費※	91億1,822万円	▲2億6,877万円	▲2.9%
■投資的経費 計	66億6,808万円	11億9,418万円	21.8%
普通建設事業費※	66億5,308万円	11億9,418万円	21.9%
うち補助事業費	39億1,546万円	13億8,932万円	55.0%
うち単独事業費	27億3,762万円	▲1億9,514万円	▲6.7%
災害復旧事業費	1,500万円	0円	0.0%
■その他経費 計	277億2,851万円	3億3,768万円	1.2%
物件費	87億3,179万円	2億6,337万円	3.1%
維持補修費	8億 451万円	▲1億2,368万円	▲13.3%
補助費等	92億1,421万円	1,061万円	0.1%
積立金	4億 282万円	2億 66万円	99.3%
投・出資金	6億9,298万円	4,397万円	6.8%
貸付金	30億8,788万円	▲7,296万円	▲2.3%
繰出金	45億9,432万円	1,571万円	0.3%
予備費	2億円	0円	0.0%
歳出合計	680億9,759万円	17億6,873万円	2.7%

こんな事業に取り組みます

検証した施策・事業の再構築や事業手法の転換などの推進に寄与する事業』、
について、「高岡を前へ進める事業」として取り組みます。

新たに挑戦！



高岡を前へ進める事業

D X (デジタルトランスフォーメーション) 関連

市民の利便性向上のための事業

▶ 体育施設利用者利便性向上事業 129万円

一部の体育施設に予約管理システムとスマートロックを導入し、効果を分析。

▶ 公開型GIS導入事業 615万円

公開型GIS（地図情報システム）を導入し、都市計画情報やハザードマップなどのデータを公開。

▶ AIチャットボットの導入 1,282万円

市ホームページやLINEにAIを活用した自動応答システムを導入。

▶ 公立保育所のICT化 193万円

公立保育園2園で、先行的に保育日誌の作成などをICT化し、保育に向き合う時間を確保。スマホアプリで園への出欠連絡や園だよりの閲覧などを可能に。

▶ キャッシュレス決済の導入 443万円

市民課・市民税課の証明書発行窓口でキャッシュレス決済端末を導入。

自治体D Xの基盤整備のための事業

▶ 行政手続きのオンライン化事業 2,076万円

行政手続きの電子申請などオンライン化に必要なシステムを整備。

▶ 自治体情報ネットワーク強靱化事業 5,125万円

機器更新や庁内サーバの集約により、ハード資源を一元化・最適化する。

カーボンニュートラル推進関連

▶ 未来につなぐチャレンジ事業 1,900万円

カーボンニュートラルに寄与する商品や、産学官連携によるSDGsの取り組みを通じた商品の開発支援など、市内事業者の多様な事業展開を支援。



▶ 脱炭素社会づくり事業 1,397万円

高岡のカーボンニュートラルに向けたロードマップ達成のための実行計画を策定。PPA（初期費用0円で住宅用太陽光発電システムを設置するサービス）の導入を支援。

地域産業関連

▶ まちなかスタートアップ支援事業 3,016万円

中心市街地で起業や事業承継の相談などができる支援機能を整備。

▶ 食・農の魅力発信事業 1,550万円

農業センターにおいて、がんばる農業者の姿や農産品のPRなど、食・農の魅力発信を行う。

▶ 中心市街地空き家・空き店舗調査事業 150万円

空き家・空き店舗の現状を把握し、市場に流通させるための支援制度を検討。

歴史・文化関連

▶ 日本遺産魅力発信推進事業 250万円

日本遺産ストーリー紹介動画の制作など、「日本遺産」の更なる魅力発信を実施。

交流・観光関連

▶ 個人旅行誘客強化事業 4,270万円

北陸新幹線新高岡駅の利用者への宿泊費補助を行うなど、高岡への立ち寄りを促進。

▶ 地域課題解決ワーケーションモデル事業 100万円

ワーケーションを受け入れ、外部人材との連携による地域課題解決や関係人口の拡大などをを目指す。

▶ 民間事業者と連携した市民協働型地域交通システム事業 778万円

デマンド型乗合送迎サービスシステム「チョイソコ」やマイカー乗合交通「ノッカル」を活用した実証運行を支援。

子育て・教育関連

▶ 不妊・不育治療費助成事業 4,198万円

特定不妊治療に要する医療費などの一部を支援。特定不妊治療助成の対象年齢を拡大。

▶ 新生児聴覚検査の助成 550万円

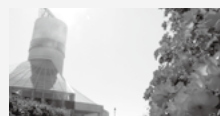
新生児への聴覚検査費用を助成。

▶ 保育料・副食費の軽減 2,559万円

市民税所得割額5万7,700円～9万6,999円の世帯の第2子について、保育料を半額、副食費を上限4,500円まで補助。

▶ おとぎの森公園魅力向上計画策定事業 200万円

利用者ニーズへの対応や持続可能な管理運営についての検討を実施。



安全・安心関連

▶ 高岡あっかり福祉推進総合補助事業 978万円

地域が実情に合わせて制度を選択・実施できるよう事業を再編。災害時の要支援者などの見守りを充実。

▶ 高岡市重層的セーフティネット事業 717万円

生活困窮に至る背景事情を踏まえた支援メニューを導入し、居住・就労・家計・学習の面から一体的に支援することで、生活困窮者の自立を促進。

▶ 合併処理浄化槽設置整備補助事業 2,915万円

合併処理浄化槽の整備区域拡大に合わせ、設置整備、維持管理費用、転換時の宅内配管工事費用などを支援。

▶ 地域活性化促進事業 358万円

地域担当職員をモデル地区へ配置。自治会運営をサポートするアプリ「結ネット」の導入初期費用、非営利・営利法人の設立を支援。

▶ 庁舎整備に向けた基礎調査事業 2,000万円

市役所本庁舎の整備方針を検討するため基礎調査を実施。

令和4年度 事業紹介

「持続可能な未来都市 高岡」の実現に向けて、『事業効果を十分に』『新しい高岡』の実現に向けた前例にとらわれない挑戦的な事業』

ここからは、総合計画に掲げる5つの事業区分に沿って、特に重要な事業や新規事業、特色ある事業を中心に紹介します。
 ⑨…新規事業、★…とやま呉西圏域連携中枢都市圏事業

1 地域産業

- ▶**地場産業対策事業** **1,732万円**
 「工芸都市高岡クラフトコンペ」の開催や伝統産業の高度な技術継承を目指す職人の取り組みなどを支援。
 令和3年度クラフト展▶ 
- ▶**企業立地助成金** **4億968万円**
 企業の設備投資の促進や雇用機会の拡大を図るため、一定規模以上の投資に対し支援。
- ▶**企業立地推進事業** **479万円**
 企業立地セミナーへの参加、各種媒体を活用したPR活動、企業立地に関する意向調査などを実施。
- ▶**強い農業・担い手づくり総合支援事業** **3,805万円**
 認定農業者など、地域の中心となる担い手の経営体質強化のため、農業機械などの導入を支援。

2 歴史・文化

- ▶**赤レンガ建物利活用調査事業** **3,628万円**
 赤レンガ建物を民間活力を生かしながら再生し、文化財的価値の保存と交流拡大につながる機能の両立を図るため、サウンディング調査（民間企業との対話）を実施。

- ▶**文化財調査・愛護活動事業** **1,635万円**
 文化財の保存・活用に向けた文献資料などの調査・研究を行い、計画を策定。文化継承・保存に向けた感染症対策を支援。
- ⑨**「バンクシーって誰?展」開催事業** **5,500万円**
 世界的アーティスト・バンクシーの展覧会を市美術館において開催。

3 交流・観光

- ▶**賑わい集積開業等支援事業** **1,800万円**
 中心市街地や観光地などで空き地・空き店舗を活用して新規開業する事業者へ、改装費などを支援。
- ★**呉西観光誘客推進事業** **527万円**
 国内外からの観光誘客の強化を図るため、とやま呉西圏域の6市で連携し、観光エリアのPR強化・充実に努める。
- ▶**新高岡駅利用促進事業** **2,062万円**
 通勤・通学定期券の購入費用の一部を支援。北陸新幹線金沢・敦賀間の開業を見据え、金沢以西エリアと連動した滞在型・周遊型の旅行商品の企画造成・支援を実施。

- ▶**公共交通活性化事業** **6,394万円**
 生活路線バスなどへの運行支援を行う。新たに、加越能バスの高齢者向け定期券の購入助成や、沿線企業などが所有する駐車場と連携したパークアンドライドを推進する。

4 子育て・教育

- ▶**保育サービス充実事業** **3億9,978万円**
 延長保育や病児保育等の保育サービスの充実を図る。
- ▶**地域イントラネット整備事業** **1億6,611万円**
 ICTを活用した授業環境の向上を図る。教員の働き方改革のため、パブリッククラウドを活用した校務支援システムを導入。
- ▶**地域運動部活動推進事業** **359万円**
 中学校の部活動について、地域ぐるみで子供の成長を支える高岡モデルを構築するため、休日の部活動の段階的な地域移行を実践研究する。
- ▶**高峰譲吉博士顕彰事業** **960万円**
 郷土の偉人・高峰譲吉博士が没後百年を迎えることから、記念事業などを実施。
- ▶**五位中学校区統合小学校整備事業** **10億9,024万円**
 校舎などの建築工事を実施。
- ▶**高岡西部中学校区小中一貫校整備事業** **3億8,711万円**
 基本設計・実施設計や改修工事を実施。
- ▶**高陵中学校区小中一貫校整備事業** **3,957万円**
 アスベスト調査や実施設計を実施。

5 安全・安心

- ▶**障がい者の権利擁護推進事業** **623万円**
 障がいのある人への正しい理解を深めるため、アール・ブリュットエキシビジョンや小学校での特別授業などを実施。相談支援事業所に相談支援アドバイザーを派遣。
- ⑨**医療的ケア児保育事業費補助金** **778万円**
 医療的ケア児の受入に向け、私立保育所などに看護師などを配置する経費を支援。
- ▶**カラス追い払い実験事業** **247万円**
 音声機器を使用した高岡駅前周辺のカラス追い払い実験を実施。設置箇所や実施時間を拡充。
- ▶**高岡古城公園カラス捕獲事業** **300万円**
 古城公園内の捕獲檻を増設し、効果検証を実施。
- ▶**消防本部・高岡消防署庁舎改築事業** **1億2,432万円**
 庁舎改築の実施設計を実施。
- ▶**道路メンテナンス事業** **1億8,485万円**
+令和3年度3月補正1,210万円
 長寿命化修繕計画に基づいて、橋りょうやトンネルの計画的な修繕などを実施。
- ⑨**古城公園樹木管理行動計画策定事業** **600万円**
 古城公園内の樹木の現地調査を行い、植生管理など問題点を洗い出し、対策を進めるための計画を策定。

- ▶**在住外国人のための生活サポート事業** **428万円**
 外国籍市民の生活を支援するため、外国人のための生活相談コーナーの開設時間・場所を拡充。

高岡市の行財政改革について

高岡市では、効率的・効果的な行財政運営を行うため「第2次行財政改革アクションプラン（改定版）」に基づき、行財政改革に取り組んでいます。令和4年度はアクションプランの計画期間の最終年度です。これまでの進捗状況を見定め、それぞれの取り組みの達成に向けて、引き続き行財政改革を推進していきます。

問合せ先 財政課 ☎ 20-1246 📠 20-1699



令和4年度
高岡市の
行財政改革
(PDF)

令和4年度の主な取り組み

※印がついている項目は、財政健全化緊急プログラム（左頁参照）でも取り上げています。

① 事務事業の見直し

- ▶ 事務事業の整理・合理化※
- ▶ 事務効率の向上
自治体クラウドの導入・活用を図るとともに、デジタル技術を活用して事務作業の効率化を図ります。
 - ・ 財務会計事務における電子決裁の導入
 - ・ 電子入札システムの県及び県内11市町との共同利用方式への移行
 - ・ 会議の効率化に向けた、オンライン会議の環境整備、ペーパーレス化などの取り組みの推進

② 信頼される行政の構築

- ▶ 時代に対応した行政組織の構築
政策調整機能の強化・充実を図り、中長期的なビジョンで施策を総合的に推進する体制を構築するため、市長政策部を再編し、新たに未来政策部を新設します。また、環境政策課の新設と文化振興業務の移管に伴い、市民生活部を生活環境文化部へ再編します。
- ▶ 職員数の適正化※
令和4年度当初の正規職員数（見込み）は、1,748人（前年度比1人減）です。

③ 健全財政の確保

- ▶ 健全な財政運営※
- ▶ 市債の適正管理※
- ▶ 市税などの収納確保対策の強化
Webで市税などの口座振替申し込みができる「Web口座振替受付サービス」を開始するなど、納税者などの利便性向上や事務の効率化を図ります。
- ▶ 地方公営企業の経営健全化
【市民病院】
急性期・高度医療の充実、安全・安心・納得の医療の提供、地域に根差した医療の提供と、安定した経営基盤の確立に努めます。
【上下水道局】
上下水道ビジョンに基づく「安全」「強^{じん}韌」「持続」の各施策推進による、安定した上下水道サービスの提供と健全経営に努めます。

④ 公有資産マネジメントの推進

- ▶ 公共施設の機能集約化と効率的運用※
公共施設再編計画に基づき、施設総量の適正化に取り組みます。
- ▶ インフラの長寿命化
道路、橋りょうなどのインフラや都市公園を計画的に維持管理し、適切な更新を行います。

⑤ 市民と共に歩む市政の推進

- ▶ 共創のまちづくりの実践
地域担当職員の配置、地域おこし協力隊の派遣などを実施し、最適な地域支援策の検証を行います。
- ▶ 満足感のある行政サービスの提供
窓口手続きなどに関する市民への情報発信について、AIを活用した自動応答システムを導入し、行政サービスの向上を目指します。

「高岡市財政健全化緊急プログラム」の目標を達成しました

財政健全化緊急プログラム（平成30年2月策定）

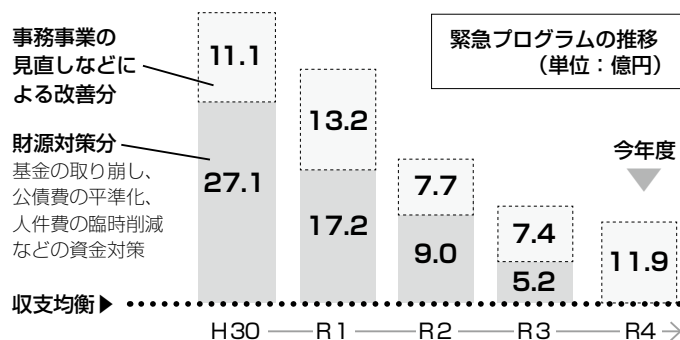
目標 令和5年度当初予算編成時までに、約40億円の構造的な歳出超過を解消し、収支均衡した財政構造へ。



市HP

令和4年度当初予算において、臨時的な財源対策によらずに予算を編成することができ、これにより「財政健全化緊急プログラム」の目標を達成し、今後の収支均衡した財政運営に見通しが立つこととなりました。

一方で、本市の財政構造から、公債費の適正管理に引き続き取り組むことが重要です。市債発行規模の適正化など、今後は収支均衡した財政運営を維持するための取り組みに努めていきます。



1 投資的経費の抑制 目標額 △3.0億円 効果額 △2.8億円

▶事業債の発行額を年間45億円以内（市債発行総額（臨時財政対策債含む）75億円以内）とし、公債費の大幅な抑制を図ります。

単位:億円	H25~H29	H30~R4 (緊急プログラム期間)
事業債発行額5カ年平均	84.2	37.1
年度当たりの償還見込額	5.0①	2.2②
効果額	①-②=△2.8	

2 公債費の平準化など 目標額 △7.0億円 効果額 △3.7億円

▶過去に借り入れた市債を繰上償還することで、後年度の公債費の軽減を図ります。

単位:億円	R1	R3	R4	計
効果額	△0.9	△0.2	△2.6	△3.7
繰上償還額	3.9	1.9	20.4	-

3 公共(的)施設管理コストの縮減

目標額 △6.0億円 効果額 △6.9億円

▶公共施設の再編を進めるとともに、管理コストや業務内容の見直しを行い、経費節減に取り組めます。

単位:億円	H30	R1	R2	R3	R4	計
効果額	△2.0	△2.9	△0.7	△0.9	△0.4	△6.9

令和4年度に管理コスト縮減に取り組む主な施設

老人福祉センター（伏木・東部・牧野・西部）、ふれあい福祉センター、里山交流センター	入浴機能の廃止
---	---------

4 事務事業の見直し 目標額 △15億円 効果額 △17億円

▶事務事業（委託料、補助金など）、繰出金、事務的経費などの見直しに取り組めます。

単位:億円	H30	R1	R2	R3	R4	計
効果額	△5.6	△4.0	△2.4	△2.9	△2.1	△17.0

令和4年度に実施する主な見直し

事業名	内容・効果額
基幹系業務システム運用事業	自治体クラウド導入（R3.1~）1億2,000万円
特別養護老人ホーム等建設事業費補助金	建設事業費の借入金償還の終了に伴う減1,200万円

5 総人件費の圧縮 目標額 △5.0億円 効果額 △10.5億円

▶組織体制の見直しと職員の適正配置に取り組み、平成30年4月の職員数から70人超を減員します。

単位:人	H30.4	R1.4	R2.4	R3.4	R4.4
職員数	1,842	1,788	1,762	1,749	1,748
H30.4との比較	-	△54	△80	△93	△94

単位:億円	H30	R1	R2	R3	R4	計
効果額	△2.3	△3.0	△1.9	△1.7	△1.6	△10.5

6 歳入の確保 目標額 +4.0億円 効果額 +10.4億円

▶市税収納率の向上や税収確保策を推進するとともに、受益者負担の原則の徹底と使用料の見直しに取り組めます。また、ふるさと納税、広告料収入などの歳入確保に取り組めます。

単位:億円	H30	R1	R2	R3	R4	計
効果額	+1.2	+2.4	+2.7	+1.7	+2.4	+10.4

※表中の効果額などについて…R2までは決算額、R3は見込額、R4は予算額となっています。



このページで紹介できなかった出来事も
随時掲載しています。

つけた

き たかおか



新たな時代の感性を感じて 2月11日～20日

富山大学芸術文化学部 大学院芸術文化学研究科の卒業・修了研究制作展が、美術館と富大高岡キャンパスで行われました。4年生の飯野那々子さんは高さ3m 88cmの巨大な絵画の作品を約9カ月かけ制作。「自分の作品に興味を持ってもらえたことがとてもうれしかった」と満足気に今展覧会を振り返りました。

世界にひとつだけの作品を 2月25日～3月6日

制作した鋳物に値段をつけ、販売されるまでを楽しめる「市民がつくるたのしい鋳物※」に参加した100人以上による作品が、御旅屋セリオで展示販売されました。参加した川原小4年生の沙魚川快斗くんは「作りたい形になったり、ならなかったりして面白かった。偶然金色になって、かっこよくなった」と話しました。
※富大芸術文化学部、デザイン・工芸センターなどによる産学官連携事業。

文化財再発見コーナー

たかおか

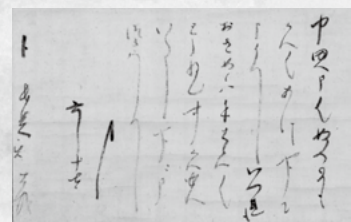
おん こ ち しん
温故知新

中田に麻布の市場があったことを示す 「前田利長書状」

今回からは、高岡の各地区の歴史・文化の一端について、博物館の資料を中心に紹介していきます。まずは中田地区の歴史に迫ってみましょう。

中田は中世末より、金沢と富山を結ぶ重要な道であった北陸道の庄川右岸に発達した宿場町です。「前田利長書状（市指定文化財）」は江戸初期、おそらく利長の高岡在城時代（1609～14年）、中田に布（麻布）や米などが換金できる市があったことを示す貴重なものです。内容は「中田（の市）で布を換金し、上納するように申し伝えよ。

米を売却し、当年中に年貢を全て納めるように」と側近に指示しています。中田はこの書状直後の1615年には宿場町に指定され、ますます発展していきました。



▲年末詳六月十七日付前田利長書状
（奥村長兵衛宛）【博物館蔵】

麻布は中田を含む砺波郡の特産品で、八講布・五郎丸布などともいいます。1642年、戸出に御旅屋ができると麻布の集散地は戸出や今石動（小矢部市）、城端（南砺市）、高岡町に移り、19世紀には福光がシェアを増していきました。

また、この時期にはまだ年貢収納のような事務的なことも、利長自らが指示していたことも、この書状から分かります（仁ヶ竹副主幹学芸員）

問合先 博物館 ☎ 20 - 1572

■右のアイコンがついているものは、無料アプリ・カタログポケットで、動画やスライドショーを視聴できます。



動画



スライド
ショー

※アプリのインストールは裏表紙下部をご参照ください。



街で見へ



この街大・好

おいしいお味噌になあれ

2月20日

国吉地域の市民らが運営する里山活性化協議会が、里山交流センターでワークショップを開催しました。市内から参加した21人が、味噌づくりやストラップづくりに挑戦。中には「家で味噌に昆布を入れて、アレンジしたい」と楽しむ人も。消毒などの感染症対策を行いながら、和やかに交流を深めていました。

食べ物を必要な人のもとへ

3月11日・12日

家庭で食べきれない食品を集め、福祉団体などに寄付するフードドライブを、ヒラキストア大坪店で実施。平米・成美校下環境保健衛生協会や高岡JCをはじめ多くの人から、レトルト食品や缶詰など2,128点が集まりました。近所の人の分も預かって来た澤田謙三さんは「必要な人のところへ届いてほしい」と語りました。



さあ、新高岡駅から。

VOL.85

「上越観光Navi」で

お気に入りの上越の逸品を探そう！



メイド・イン上越認証品



上越観光ナビ



上越特産市場

「上越観光Navi」は、上越市のグルメやおみやげなどを紹介するホームページです。厳しい審査を経て認証された、上越ならではの優れた名産品「メイド・イン上越認証品」をご覧ください。また、HP「上越特産市場」では、上越市の「うんまいもの」約900商品を購入できます。

※高岡市と上越市は広域観光の交流を図るため、お互いの広報紙で観光情報を掲載しています。



雪むろ酒かすラーメン▶
栄養価が高く、からだも温めてくれる酒粕は、雪国上越にとって欠かせない食材。その酒粕と雪国ならではの「雪室食材」などを結集したご当地ラーメンです。

◀するてん
一夜干しの塩するめを天ぷらにしたもの。手軽な郷土料理であり、酒のおつまみとして食されています。



コロナ禍においてはご自宅で、コロナ収束後にはぜひ上越市へお越しいただき、ここでしか味わえないグルメやおみやげをお楽しみください。

問合先 上越市観光交流推進課

☎ 025-520-5740

令和4年度 上下水道事業予算

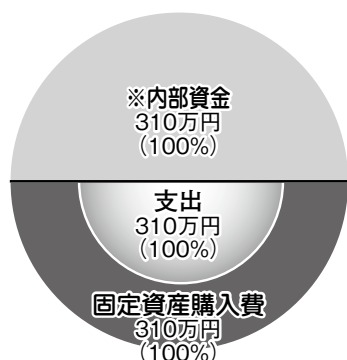
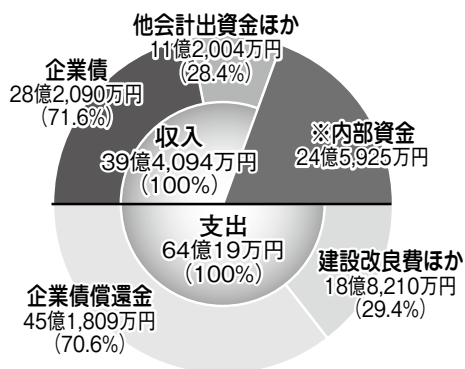
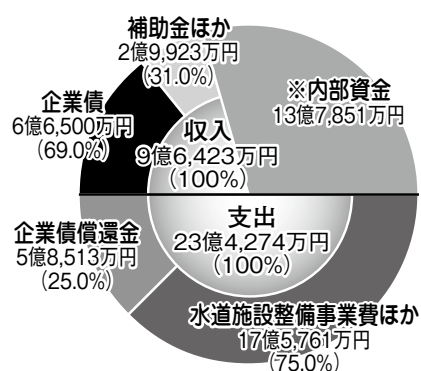
3月に「高岡市上下水道ビジョン」（計画期間：平成29～令和8年度）を見直しました。

基本方針の「安全」「強靱」「持続」に基づき、水道事業では基幹施設の整備や老朽管の更新・耐震化に取り組みます。下水道事業では公共下水道や雨水管の整備、ストックマネジメント計画に基づく管渠の更新・耐震化に取り組み、災害に強い上下水道を構築していきます。

■問合先 上下水道局総務課 ☎ 20-1622 FAX 20-1624

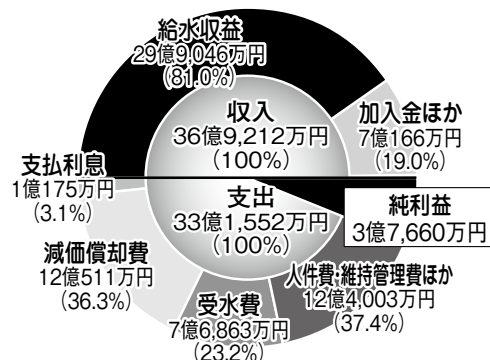


資本的収支（施設の建設改良の収支）

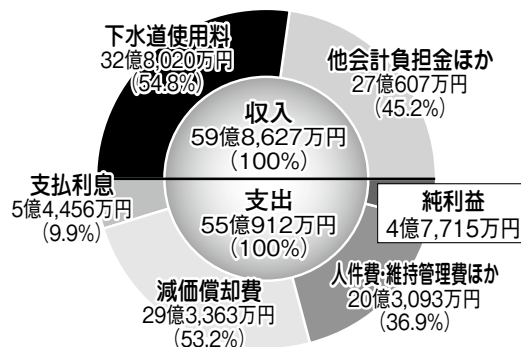


収益的収支（事業運営の収支）

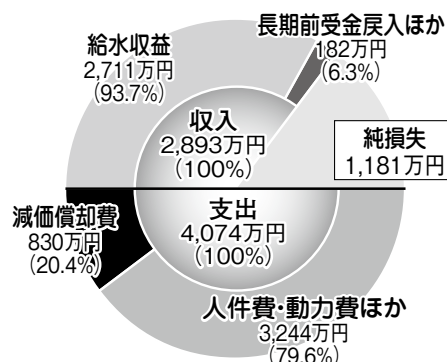
【水道事業】



【下水道事業】



【工業用水道事業】



※内部資金…収益的収支から内部留保資金（現金の支出を必要としない減価償却費など）を充てたもの